

今年もみんなで落書き消ししませんか

「出前・落書き消し」も始めます

ずいぶん減りました

昨年は 3 回にわたって行った新百合ヶ丘駅周辺の落書き消しの成果でしょうか。7 月 14 日の調査では 45 箇所の落書きがありました。昨年の 172 箇所と比べるとかなり減りました。地道に美しいまちづくり活動を続けることの大切さを改めて確認しました。



今年も 11 月実施です

そこで、今年もまた、11 月に落書き消しを実施することになりました。昨年は幼稚園児から 70 代のシニアの方まで多くの地域住民の皆さんが参加してくださいました。今年も昨年に劣らず、大勢の方のご参加を期待しています。

『出前落書き消し』を利用して！

駅周辺の落書きは減りましたが、最近では残念なことに区内のあちこちで見られるようになりました。そこで、「あさお落書き消し隊」*では落書き消しを何とかしたいと悩んでいらっしゃる町会・自治会、地区の応援に行く『出前落書き消し』をはじめます。住民の皆さんに落書き消しのノウハウを提供しながら、協力して落書きを消します。みんな、美しい麻生を守りませんか。

あさお落書き消し隊
麻生まちづくり市民の会と新百合ヶ丘駅周辺景観形成協議会で編成された組織

区民まつりで体験してもらいました

秋晴れの下、10月8日、大勢の方が参加された今年の区民まつり。「落書き消しの体験をして見ませんか？」と、チラシを配りながらの呼びかけに、先ず子供たちが反応して、「どうやるの？」「これ、いい匂い！」「あっ！消えた」の感動に混じって、「落書きは、



あちこちにありますが」と、麻生区内の美化に、やはり体験コーナーの効果は大きかったようです。

落書き消しのお知らせ

日程 11月11日(土)午前中3時間以内
(事前説明会)10月28日(土)11時~12時
落書き消しに関心ある方、ご参加ください。
「出前落書き消し」ご希望の町会・地区を募集

申し込み方法
「落書き消し参加」「出前落書き消し希望」と記入の上、住所、氏名、または、町会・団体名を明記し、はがきで郵送してください。
申込み・問合せ先
〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1
麻生区役所地域振興課 電話 044 (965)5116
主催：あさお落書き消し隊

出揃った活動テーマ

新しいことを考え、取り組むこともたいへん大切なこと。しかし人が代わったからといって前期に取り組んだテーマを棚上げして初めからというのも、過去の知恵、努力が無駄になりもったいない、そんな意見も多くでた。いいものはさらに研究し、あすへと繋いでいかなければ発展はない。「継続性」と「発展性」を議論し実行することがまちづくりの原点だと思う。「まちづくり推進部会」「市民活動支援部会」の活動テーマが出揃った。ご紹介しよう。

活動テーマ新たに2つ選択

市民活動支援部会

継続企画と共に活動方針固まる

市民活動支援部会の活動方針が固まりました。7月にワークショップで全体の問題意識を出し合い、8月には前期に実施した4つの小委員会の活動内容を“おさらい”し確認しましたが、これについてはこのままで終わらせずに今後どう繋げていくかが大切ですね、という見方で一致しました。

これらを受けて、役員によるまとめ（役員会メモ）が作成され、9月の市民活動支援部会に提出されました。冒頭、役員会メモに至るまでの説明がありました。全く新しい企画となると思いは無限に広がるし收拾がつかなくなる。では、できることから実施に移そうということでした。

できることのひとつは前期企画の延長線を見越したもの。もうひとつは新しい市民利用施設と協力しながらできるものなど。選択されたテーマは「人材育成のための学習会」と「相談コーナーに必要な情報の収集」の2点。このテーマに共通して見えるものは「人」でした。大勢の賛同がえられ、10月に向け、内容の詰めと企画づくりの作業のため、それぞれについて担当リーダーを決めました。

（注）前期に実施した小委員会4つ 支援ルーム運営委員会
活動の場の確保と情報提供小委員会 交流会・学習会などの企画
実行小委員会 情報検討小委員会

10月の部会では、テーマの詳細内容がリーダーから提示、説明されました。部会内の了承を確認したあと、グループ分けに入り、所属したテーマで話し合わ

れました。テーマの詳細内容は次の通り。

〔1〕市民活動相談窓口を設置

第1期市民の会等の活動成果を踏まえて次のステップを考えることになりました。19年4月オープンの（仮称）新しい市民利用施設と協力し、同施設を活動のフィールドとして相談窓口活動の展開をめざします。当面の具体的作業として、活動団体の調査とヒアリング、活動の場の調査、発掘などから取り掛かり、調査資料は整理し、データベース化して、19年4月オープンの（仮称）新しい市民利用施設の相談窓口につなげます。市民活動団体が主催するイベントで演芸ボランティア出演者の紹介、あるいはセミナーの講師等に関する相談、紹介業務により、市民活動の活性化に寄与します。麻生区役所、市民館、福祉パルあさお等が保有する各分野の人材名簿等を整理統合し、さらに独自面談調査を進め、データベース化し相談窓口活動に対応します。

〔2〕人材育成のための学習会

この企画案は、2007年問題に象徴されるリタイア世代だけでなく、地域参加したい人たちへの呼びかけです。

講座名を「地域デビューへの招待状」としたこの企画は、地域参加したい、地域で何かをしたい、そんな思いを抱いている人たちが地域活動にスムーズに参加できるようなプログラムを工夫します。一方、新規メンバーがなかなか獲得できないという大きな課題を抱える市民活動団体にも参加してもらい、いわば“地域参加したい人と市民活動団体のお見合いの場”を実現させようということになりました。この話し合いの中で、リタイア世代に限定せず、地域デビューしたい人なら誰でも参加できるように対象を広げることが決まりました。

〔3〕（仮称）新しい市民利用施設市民検討委員会のサポート（継続企画）

1期市民の会からの継続事業で、平成19年3月31日を期限として施設オープン準備が行われる間、行政と協働で「運営スタッフ」として事務局を担当します。

活動としては、（仮称）新しい市民利用施設市民検討委員会の課題の整理や受付、司会などの進行、運営委員会の司会や記録の作成、運営検討部会に運営スタッフとして参加、運営準備会に個人として参加しています。

この事業は平成16年10月施行の（仮称）新しい市民利用施設市民検討委員会設置要綱に基づいてスタートしました。

まちづくり推進部会

部会員から活動テーマを募集

活動企画案として集約

9月から10月にわたって開かれた推進部会では、これからの部会活動の方向を決めるため、部会員から活動の企画案を募集しました。その結果、次の企画案が出されました。

- 1、麻生まちづくり学校(本校講座)
- 2、道路・交通、緑地保全について
- 3、道路整備について
- 4、地域まちづくり(まちづくり学校の分校活動の支援)
- 5、震災避難訓練の実施
- 6、「あさお落書き消し隊」
- 7、公園緑地等の維持管理
- 8、麻生に地域通貨を作ろう。
- 9、麻生区に総合病院を誘致しよう。

以上の企画案について推進部会で討議を重ねた結果、それぞれについての目的、活動内容の共通性から2の道路・交通と緑地保全、3の道路整備は、1の麻生まちづくり学校の活動に包括し、5の震災避難訓練の実施は、4の地域まちづくりの活動に包括することになりました。また、7の公園緑地等の維持管理については今年度は、推進部会としての活動を見合わせる事になりました。なお昨年活動しました葉積緑地の整備は「公園愛護会」が設立され引き継がれました。

最終的には次の4つのテーマが企画審査会に提出される事になりました。その後、10/16の企画審査会の審査の結果、「麻生まちづくり学校」、「地域まちづくり」、「あさお落書き消し隊」の活動が承認されました。なお、9については、次回部会で再度検討します。

〔1〕麻生まちづくり学校

目的は、協働と参画のまちづくりを進めるために必要な知識・情報の提供、調査、研究。まちづくりを担う人材育成。地域主体のまちづくりの推進。

活動内容は協働と参画のまちづくりを進めるための知識の習得と、地域のまちづくり人材を育成するための「まちづくり講座」を企画し、年に5回程度実施します。講座の運営や、テーマの設定、講師の招へい等は、企画運営委員を選出して行い、講座にはひろく区民が参加しやすいものにし、更に特定課題や地域の担い手に参加してもらえます。

〔2〕地域まちづくり

目的は「協働と参画のまちづくり」を進めるための知識・情報の提供と交換や調査研究。地区内に密着した防災などの具体的な要件と取り組み、更に地域での課題を発掘し、地域におけるまちづくり活動の芽を育てるためのプロデュース、コーディネート活動を行います。そのために、必要に応じて学習会を開催、行政との協働の取り組みを行います。また、各地域ごとに担当メンバーを決めて地域への接触を深め、懇談会や学習会の企画を立てたり、必要に応じて行政や専門家と協働した取り組みも行います。

防災を1つのテーマとして、実際に自分達が生活している街がどの程度危険なのかという調査をし、ハザードマップを作成し、どうしたら安全な街づくりにつながるかを、市民が考え行動するための手助けをしようとするものです。

〔3〕「あさお落書き消し隊」

<新百合ヶ丘駅周辺景観形成協議会>と協働して、昨年から活動していますが、今年も新百合ヶ丘駅周辺の落書き消しを実施して、駅周辺の美化と犯罪の抑止を目指すものです。更に町会・自治会・地区の要望による「出前落書き消し」を行って、落書き消しのやり方を伝えながら麻生区内の美化と小さな犯罪の芽を摘み取るようにします。

〔4〕麻生に地域通貨(ボランティアマネー)を導入

地域通貨の導入を通して温かみのあるコミュニティづくりを目指し、豊かで元気のある暮らしを実現しようとするものです。まず川崎区や大和市ですでに実施されている実態を調査研究することから第一歩を進める計画です。



テーマ選択 向こうに見えるものは、共通して「人」でした

市民の会団体紹介（続）



麻生区商店街連合会

活動内容：いま以上に商店街連合会を知っていただくためのホームページ委員会の立ち上げとその充実。川崎フロンターレを応援することによるスポーツ振興。 会員数：百合丘駅前商店会・百合丘中央商店会・弘法の松商店会・新ゆりグリーンプラザ商店会・王禅寺ショッピングプラザ・柿生中央商店会・新百合ヶ丘商店会・マブレ専門店街の8つの単会と大型店賛助会員。市民の会に期待すること：現在の商店街連合会の問題は休業や廃業によってシャッターを下ろしている店舗の増加です。シャッターが閉まったままですと景観が悪く、防犯の点でも不安を感じます。市民の会に参加し、空き店舗を減らす知恵を勉強し商売に生かすことによりお客様に喜んでいただける商店づくりを目指したいと思います。

（まちづくり推進部会 鴨志田敏彦）

“防災”をテーマに

「まちづくり学校連続講座」参加募集

市民の会・まちづくり推進部会では、区民に身近なまちづくりについて、安全・安心の観点に立ち、共に考え、学ぶ連続講座を開催します。

この講座は、市民の会の目的である住みやすいまちづくりを進めている区民などの「活動の支援」の取り組みとして行うものです。皆さんのご参加をお待ちしています。

講座内容

- ・防災の視点から見た麻生区の現状
- ・災害が来る前にすべきこと・出来ること
- ・災害の後にすべきこと・出来ること

参加対象：区内在住で地域のまちづくりに興味のある方30人（応募多数の場合は抽選）

日程：平成19年3月までに4回程度を予定

申込方法：11月30日までに、ハガキに住所・氏名・電話番号・応募にあたり学びたいこと・興味のあることを記入し、投函して下さい。（FAXも可）

事前説明会：11月18日（土）14時から。会場：麻生区役所4階 第2会議室。<申込・問合せ先>麻生区役所地域振興課。☎965-5116、Fax)965-5200

市民の会企画審査を実施

第65回運営委員会（10/16）で第1回企画審査が実施されました。

まず、各企画担当者が企画案を説明したあと、企画審査部が事前に行った予備審査の結果を発表。まちづくり推進部会の麻生まちづくり学校（本校講座）地域まちづくり支援（分校活動の支援）、「あさお落書き消し隊」の4企画案については適格、地域通貨（ボランティアマネー）の導入については保留との判定が報告されました。

この審査は1期から示されていた審査基準（実行可能性 継続・発展性 費用対効果 設立趣意・会則等への適格性）を一部改訂したものにに基づき行われました。

これを受けた企画担当者とはやりとりがってから審議に入り、3企画案については決定、保留となった地域通貨の導入案については、実行可能な企画案を再提出することになりました。

なお、運営担当部所属の広報部についても承認されました。

*市民活動支援部会企画案は10月30日の審査を経て11月の運営委員会で審議のうえ決定されます。

朗読テープをご利用ください

朗読ボランティアグループ「さんざし」のご協力により、広報紙「麻生のまちづくり」の朗読テープを作成しています。利用ご希望の方は、麻生区役所地域振興課まで。電話：965-5116 FAX：965-5201

今後の予定（どなたでも傍聴できます）

- ・まちづくり市民の会運営委員会：11月13日（月）18時から
12月11日（月）18時から
- ・市民種支援部会：11月1日（水）13時30分から
12月6日（水）13時30分から
- ・まちづくり推進部会：11月6日（月）18時30分から
12月4日（月）18時30分から

編集後記

中国に「飲水思源」という諺があります。水を飲むとき、井戸を掘った人の苦勞を忘れない、という意味のようです。今回も侃々諤々（かんかんがくがく）の議論と試行錯誤を重ねながら課題を整理し紙面づくりが行われました。この見開き4面のささやかな広報紙が一人でも多くの市民の目にとまって市民の会のメンバーの熱意が伝わり、「まちづくり」に関心を持っていただけたらと願っています。（清水）